

地元商店街とタッグ「日本高校会議所」発足

へ全国おこし町の高校生

高校生が商店街などと協力して商品開発やイベントを行い、地域活性化を目指す「富士宮高校会議所」の二代目会頭・中村真緒さん(二〇)が、十一月に発足したばかりの「日本高校会議所」の会頭に就任した。二十九日、富士宮市で報告会が行われ、中村さんは「富士宮のビジネスモデルを全国に広められれば」と意気込みを語った。

(前田朋子)

富士宮の中村さん会頭に

富士宮高校会議所は市内 場産品を利用した商品開発の高校生をメンバーに二〇 に協力してきた。さらに一六年二月に発足。現在は 国各地の高校生と連携し、二十六人で活動し、パフォー うと「日本高校会議所設立」マンス大会やおはなし会 準備委員会」を今年九月になどのイベントを行い、地 立ち上げ、委員長だった中



商品開発やイベントなど

村さんが、十一月二十五日に兵庫県明石市で開かれた設立総会で初代会頭に承認された。発足メンバーは、「今治焼豚玉子飯世界普及委員会」(愛媛県今治市)などB級グルメを通じて町おこしを図る全国二十五団体で活動中の高校生四十人。総会では来年八月に富士宮市で第一回総会を開くことや、全国民を巻き込んだ総選挙で次の会頭を決めることなどを話し合った。中村さんは「自分たちの地域を知らなかったり、町おこしに消極的な高校生も多い。同級生らの地域を愛する気持ちを喚起し、火をつけていける活動ができれば」と話している。



⑤ 設立総会の様子を富士宮高校会議所のメンバーに報告する中村真緒さん(左端) ⑥ 富士宮市西町で ⑦ 設立総会で話す中村真緒さん ⑧ 兵庫県明石市で